



VOLVO CAR JAPAN

Press Release

2018年3月6日

新型ボルボXC40、2018年欧州カー・オブ・ザ・イヤーを受賞

本プレスリリースは、3月5日スウェーデン本社発、プレスリリースの翻訳版です

高級コンパクト SUV の新型 XC40 が、スイスで開催されるジュネーブモーターショーに先駆け、2018 年欧州カー・オブ・ザ・イヤーを受賞しました。ボルボ・カーズにとって、この権威ある賞の受賞は初の栄冠となります。



ボルボ・カー・グループ代表取締役社長兼 CEO のホーカン・サムエルソンは、「新型 XC40 がこの栄誉を授かったのは、タイミングとしても理想的です。ボルボは、初めて世界市場に向けて 3 種類の SUV を発売しました。XC40 は、急速に成長するコンパクト SUV セグメントにおいて、当社の更なる成長に大きく貢献してくれることでしょう。」と語っています。

今回の XC40 の受賞は、グローバルに展開する新しいボルボ SUV ラインナップが完成し、欧州と北米の両大陸でカー・オブ・ザ・イヤーに選ばれたことを意味しています。大型 SUV の XC90、ミッドサイズ SUV の XC60 のいずれもが、過去 2 年間で北米トラック／ユーティリティ・オブ・ザ・イヤーを受賞しています。

XC40 は英国の代表的な自動車雑誌「What Car?」によるカー・オブ・ザ・イヤー受賞など、このところ多くの注目を浴びており、2018 年欧州カー・オブ・ザ・イヤーの受賞はこれらに続く快挙です。

報道関係お問い合わせ先
ボルボ・カー・ジャパン 広報部

XC40 はコンパクト SUV セグメントにおいて、デザイン、コネクティビティ、安全性の観点から新たな基準を確立しています。欧州および米国での 2 万台を超える初期受注の背景には、こうした顧客にとって魅力的な組み合わせであることが大きく影響しています。ボルボ XC40 は間もなく、世界最大の市場である中国で発売される予定であり、大きな反響を呼ぶものと期待しています。

XC40 はボルボ・カーズの新しいコンパクト・モジュラー・ビークル・アーキテクチャー (CMA) を採用した最初のモデルであり、このプラットフォームは、今後発売される予定の電気自動車を含む 40 シリーズの量産車種の全てに採用される予定です。Geely 社と共同で開発された CMA は、このセグメントに必要なスケールメリットを当社にもたらします。

XC40 は、ボルボのデジタル・キー技術と、コネクテッド・サービスのプラットフォームとなる「Volvo On Call」を介して有効化が可能なカー・シェアリングのための機能を備えた最初のボルボ車です。この機能によって、XC40 のオーナーは、実際のキーを手渡すことなく、家族や友人と車を共有することができます。

さらに、XC40 にはボルボの新しいサブスクリプション・サービスである「CARE BY VOLVO」を初めて導入します。このサービスは、ボルボ車を所有するのではなく、月々定額料金を支払うことでボルボ車に乗ることができます。CARE BY VOLVO を利用することで、携帯電話を持つのと同じように、自動車に乗ることが手軽かつシンプルで手間のかからないこととなります。

XC40 には、「パイロット・アシスト」、「シティ・セーフティ」、「ランオフロードプロテクション & ミティゲーション」、「オートブレーキ機能付 CTA (クロス・トラフィック・アラート)」の他、ドライバーが車両を狭い駐車スペースへ入る際に役立つ 360°カメラなどの安全性および運転支援機能を備えています。

XC40 には、ドアおよびシート下に機能的な収納スペースを備え、また非接触充電機能付きの携帯電話用スペース、小さなバッグなどを掛けられる収納式フック、センター・コンソール内の脱着式ゴミ入れなどの独創的なインテリア・デザインを採用しています。

2017 年、ボルボ・カーズは 2019 年以降新たに発売するすべての車両を電動化することを発表しました。電動化をリードするにあたり、XC40 にもハイブリッド・モデルおよび電気自動車を追加する予定です。

ホーカン・サムエルソンは、「当社は成長のための明確な戦略を持っており、自動車の安全性、コネクティビティ・サービス、電動化の分野で先頭に立つことに全力を尽くしています。XC40 はその私たちの責任感の表れであり、当社のお客様や本日の COTY 審査員の皆様からの反応を見るにつけ、当社は正しい道筋を歩んでいると考えます。」と語りました。